

## 嗅覚刺激訓練法における自伝的記憶の想起介入効果の検証と 認知症予防プログラムの開発

Verification of the Effect of Autobiographical Memory Retrieval Intervention in  
Olfactory Training and Development of a Dementia Prevention Program

山本 晃輔 (Yamamoto Kohsuke)

認知症高齢者の急増によるさまざまな問題は、わが国のみならず世界的にも公衆衛生上の重要な課題として認識されている。近年、認知症研究で注目される嗅覚刺激訓練法は高齢者の認知機能改善に有効であることが示されている。しかし、その効果を高める最適条件や認知メカニズムは明らかにされていない。本研究では、嗅覚刺激訓練法時における記憶想起に注目し、その認知メカニズムの解明を通して、認知・発達心理学理論に新たな局面を開くとともに、認知症予防プログラムの開発を目指す。

2022 年度は、嗅覚刺激訓練法における重要なアウトカムメジャーの 1 つである嗅覚同定能力に注目し、記憶との関連性について基礎的な研究を行った。実験では、嗅覚同定能力の個人差と加齢が嗅覚刺激による自伝的記憶の想起に及ぼす影響について検討した。具体的には、若年者、高齢者を嗅覚同定能力検査である **Open Essence**(富士フイルム和光純薬株式会社)に基づいて嗅覚同定能力の高い群と低い群に分けたあと、嗅覚刺激による自伝的記憶の想起を求め、その記憶について鮮明度等の評定を求めた。実験の結果、若年者では嗅覚同定能力高群が低群よりも鮮明な記憶を想起したが、高齢者ではその差が確認されなかった。これらの知見をもとに、次年度では嗅覚刺激訓練法による嗅覚同定能力への影響について実験を行う予定である。関連研究も含め、今年度の学会発表件数は計 12 件であり、学術論文は計 7 編が審査の結果、採択された。

### 【主な研究成果】

Yamamoto, K., Yokomitsu, K. & Kobayashi, T. (2022). Development of the function of autobiographical memories evoked by odor scale for older Japanese people. *Frontiers in Psychology*. 13:945002. doi: 10.3389/fpsyg.2022.945002.

Yamamoto, K. & Kobayakawa, T. (2022). Influences of individual differences in odor identification ability and aging on autobiographical memory cued by odor. *Journal of Japan Association on Odor Environment*, 53, 299-302.

Yamamoto, K. & Sugiyama, H. (2023). Influences of age-related positivity effect on characteristics of odor-evoked autobiographical memories in older Japanese adults. *Frontiers in Psychology*. 13:1027519. doi: 10.3389/fpsyg.2022.1027519.

山本晃輔・松葉佐智子・綾部早穂 (2023). 日常生活における「におい」に関する性差・世代差の検討. *におい・かおり環境学会誌* 54(2) 145-148.